

地域版

SASEBO 99 Talk  
M Cafe

# 令和7年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和7年8月20日(水)14時から
場所	宮地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	・地域づくり将来について ・学校再編による跡地利用と避難所の見直しについて
出席者	地域参加者11名、市議会議員1名、市長ほか関係者4名 合計16名

佐世保市 市民生活部  
コミュニティ・協働推進課

# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域づくり将来について

## 地域参加者

- 宮地区は4月1日よりバスが通らなくなった。その代替策として、乗合タクシーを導入していただいで感謝している。  
ただ、1時間の内2台しか稼働していない状況で、予約をしても取れないとか、お店にお迎えに来てくれるタクシーに表示がなくて、一般のタクシーか乗合タクシーかわからないときがあるというような声を聞いたので、改善をお願いできればと考えている。



## 市長

- 今回14のバス路線が廃止されたことを、市としても非常に重く受け止めている。佐世保市としては、佐々町と共に公共交通計画を新たに作って対応を行っているところ。路線を一部維持し、維持できなかったところでは、乗合タクシーや公共ライドシェアといった代替交通を導入して空白地を埋めていくというやり方を取っている。今回宮をはじめ東部地区においては、新たに乗合タクシーを導入し、黒島地区では今秋から公共ライドシェアの実証実験を行う。黒島での実証実験を成功させ、こうした事例を横展開して各地域の方に伝えていきたいと思う。  
宮地区では今年から乗合タクシーが始まったが、佐世保には長くやっておられる地域があり、先輩方がいる。特に北地区では、20年近く乗合タクシーを運行されていて、やっていく内にいろんな課題が出てきて、ひとつひとつ見直しながらずっとこれまでやってきたというお話も先日いただいた。宮地区はスタートしたばかりなので、乗合タクシーの表示のような問題点がひとつずつ出てく



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域づくり将来について

## 市長

と思う。その時々に見直しながら、利用者の皆様方の利便性を高めて利用者を増やし、事業者の皆様方にとっても良くなるようにしてこそ、この制度が長く続くと思う。いろいろとおっしゃっていただいて、時々のうちと事業者と3者でそういう見直しをかけていって、良い制度としてこれから続けていきたいと思う。また何かあったらどうぞおっしゃっていただければ。

## 地域参加者

- 買い物等の生活面で不自由な住民の方には、この乗合タクシーだけでは不十分な部分はまだたくさんある。そこで宮地区では自治協議会、生活支援コーディネーターを中心に、有償ボランティアによる買い物支援、ゴミ出し支援の活動を実施しようと立ち上げている。先進地の視察に行ったり、市の補助金を活用しようかと考えたりしているが、他にハードルが高い部分があってまだ実施できていない。話し合いを始めてから2年経過し

ているので、まずはやってみようかということで計画している。

- 生活支援コーディネーターという、地域での助け合い活動等の調整役とか旗振り役をさせてもらっている。

約2年ぐらい前、乗合タクシーが始まる前から、近くで買い物できる所がなかったり、バス停まで遠いといった方が多い中、買い物・外出活動とゴミ捨て活動ができないかと話し合いを行っている。副会長が言われたように、お手伝いできるよといった住民さんが買い物・送迎の支援を行い、10分につき100円の取組みでできないかと、今宮地区で検討している。10月前後にお試し活動で第1回目をやってみようかと検討しているところである。

宮地区にある福祉施設に、車を貸していただけないかとお声掛けして、借りることができればこの活動は実現に向けてだいが進んでいくが、活動の課題のひとつに車がある。宮地区だけで言



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

## テーマ:地域づくり将来について

### 地域参加者

えば、今言ったように福祉施設に声掛けするつもりだが、他の地区でも似たような状況だと思う。どこの地区も少子高齢化・人口減少・公共交通に関しては共通していると思う。そこでもし、佐世保市で空いている車があって、地域のために使っていていいというような仕組みができれば、月に1、2回借りることができればと思っている。

宮の方から市役所の方まで借りに何うというのは、距離的にもなかなか難しいところがあるので、例えば広い駐車場がある広田のスポーツセンターに車を置いていただき、そこに私たちが取りに行って、地域のための活動として貸してもらいたい。そういうことができれば、他の地区で類似した動きがあったときに課題解決のひとつになるのかと思う。

- 視察に行ったところが、東彼杵社会福祉協議会と小佐々社会福祉協議会。今後鹿町にも行く予定。そういったところでは、社会福祉協議会の車を使った送迎サービスの中で、地元のボランティアが

運転サービスの買い物支援の付き添いサービスをされている。佐世保市として社会福祉協議会と一緒にあってそういった支援もしていただければ。買い物に限らずゴミ出しなど住民の困った問題を解決するために、早急に手助けをお願いしたい。

- もし車を借りられるのであれば、やはり東部地区に一ヶ所、広田のスポーツセンターに置いていただけたら一番。
- 宮の中にスーパーが1軒もない。スーパーができれば、遠い広田に行くよりは半分の距離で宮の中を回れ、買い物に行ける頻度も上がると思う。新しく住宅も建って人が増えているので、年配の方も若い方も買い物ができる場所があれば活性化すると思う。なんらかの形でまず進めていけないか。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域づくり将来について

## 市長

- 10月から取り組みをしていただけたということ、大変ありがたいことだと思う。  
一方で、空いている車を利用させてほしい、会長からは社会福祉協議会の車をどうかということだったが、その点についてはよく検討したいと思う。別の地域でも、地域の方で車を使いたいというご意見をいただいた。その中でたまたまちょうどその場に福祉施設をやっておられる方がいて、「日中うちの車空いていますよ」という声もあった。「我々も協力するので、日中使っていない車等は使っていいですよ」という話もその時出た。例えば、社会福祉施設や老人施設、幼稚園や保育園の送迎バスで日中使わなかったり、運転士の方で朝夕以外は動いてない方も結構いらっしやるとお聞きするので、そういったことも含めて全体的に高齢者の皆様方を中心とした送迎の在り方を内部で検討させていただきたい。またその段階でいろいろとご意見をいただければ。

- 今までスーパーの話があっても調整区域の中でできなかった、ニーズはまだあるということで。宮地区は佐世保市の中で唯一人口が増えているという大変喜ばしい地域であるので、そういう中での利便性ということであれば、確かに事業者側からもそういうニーズも出てくると思う。いろいろと話をさせていただいて、検討させていただければ。できるだけ宮の皆さん方の生活の利便性が向上するような。その辺も検討させていただきたいと思う。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域づくり将来について

## 地域参加者

- 佐世保市では、75歳以上に運賃を無料とする敬老パスを配布されているが、宮地区は現状ではバス路線が4月からなくなった状態で、無料パスを使う頻度が少ないと思う。利用者の中には、バス路線が残っているところまで車で行ってからバスを利用しているという方もいた。無料パスを見直して、バス路線がないところにはタクシーのチケットを配布していただけないか。
- 新しい団地には未就学の小さい子どもたちがいっぱいいるが、その子どもたちが通学するといった場合にバスがないと不便。バス路線の復活をしてもらいたい。  
そもそもバス路線の廃止計画があったにもかかわらず団地を造成して人口を増やしていくかという計画があったのであれば、そこは計画に問題があったのかなと思う。  
バス路線がないと人口を増やそうとしても人が寄ってこないと思う。バス路線を。
- 小学生・中学生は歩いて登校できるが、高校生になったお子さん、電車で行けない子どもはここから東翔や川棚高校に通おうとした場合、どうしてもバスでないと行けない。川棚高校はなんとか電車で行けるかもしれないが、波佐見高校とか。そうなったときにどうしても保護者が車で送らないといけなくなる。保護者の勤務先と反対方向になるとひとつの負担になって、希望校に行けなくなる。波佐見高校で野球をしたいのにどうしても行けないというふうに、子どもたちの将来をつぶしてしまうようなことがないようバス路線があった方がいいのではないか。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域づくり将来について

## 市長

- 敬老パスについては、すでに市議会からもいろいろご意見をいただいている。利用率が非常に低い状況のため、見直しを早急にはかるようにというのが市議会からの要望である。

本市としても、保健福祉審議会の方に諮問している。今ご指摘いただいたように、バス路線が減少する中、さらに敬老パスの利用率が少なくなっていくことが見込まれる。松浦鉄道やJR、代替交通でも利用できるのではというご意見をいただいているので、そうした全体的なことを含めて今諮問させていただいている。その答申を受け、これからしっかりと庁内で検討して、市民の皆様方にできるだけ利便性が高いような制度に見直しできるよう、これから考えていきたい。市議会の皆様方からも十分にご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

- 基本的には、なかなかバスの維持が難しくなっている中で、代替交通でその部分を補完しようといった形にしている。そうした中で今話があった通学バスについても非常に重要なところ。

特にPTA会長がおっしゃったように、高校についてはどうしても自治体を跨ぐことになるので、例えばうちと波佐見町や川棚町と連携をしながらやっていかなければならないと考えている。また北部の方でも、例えば北部地域から松浦高校に行かれています方もおり、そういうところでは高校の方で学校の始業時間を融通していただいて、確実に佐世保からも松浦高校に通えるような仕組みもとっていただいている。その辺は高校とそれぞれの町としっかり連携をしながら、この通学バスをつくっていきたいと思っているのでご理解いただきたい。

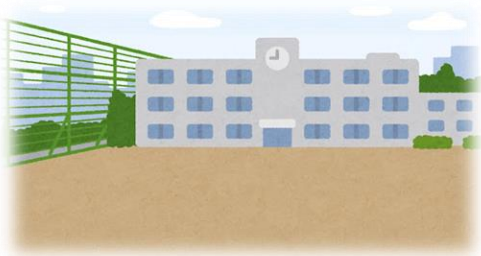


# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編による跡地利用と避難所の見直しについて

## 地域参加者

- 学校再編を考える会で、宮地区は2回協議し、令和4年1月20日に「合意が図られた場合は利用方法について検討したい」という回答を事務局からいただいた。この時一定の理解が図られたということで、「メリットを最大に、デメリットを最小に」と合意した経緯がある。跡地利用については、その時点では「まだ決まっていない」という回答だった。住民の関心事は、いかに地域のために役立つような施設にさせていただくかという跡地利用について。戸尾小学校のように広範に利用できるような施設を考えていただいたらいいのではないかという意見もある。利用方法について今こういう検討状況か回答をお願いしたい。



- 小学校の跡地利用に関しては、グラウンドだけでも残していただきたい。宮支所・コミュニティセンターの駐車場が狭く、土日のイベント開催時には中学校のグラウンドと個人病院の駐車場を利用させてもらっていて、平日開催の場合も指導員が出てずっと詰めて駐車している。雨天時は中学校のグラウンドは使用できない。小学校の行事の際には駐車場がないので道の片側に駐車している。跡地はイベントがない時にはグラウンドゴルフなど健康増進のために利用、災害時にはテントを立てたり、給水車を配置したりできる。小学校の図書館が水害時の避難所となっている。トイレがないのでトイレ等も整備してもらって、避難所とグラウンドをしっかり残してもらいたいと思う。
- 体育協会でも球技大会や運動会でグラウンドを使用しているので、是非とも残していただきたい。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編による跡地利用と避難所の見直しについて

## 教育総務部長

- 学校の建物・施設の老朽化の進行と子どもの数の減少の2つの観点から学校再編を進めている。特に子どもの数の減少に対しては、一定の集団性というものがどうしても必要となる中、今のままだと集団性が弱くなっていく学校がある。それが再編を行っていく理由の主なものといえる。再編計画については、第1期計画で令和4年から7地区の学校再編を進めるようにしており、宮地区は6番目の位置づけ。具体的には新たな宮小学校と中学校を統合した義務教育学校として、令和13年度の開校を目指す形で進めていっている。跡地を”このように活用していく”というような方針や決めたものはない。今後再編の動きとあわせて、或いは決めた上で、その跡地をどう活用するかを検討していく。宮地区の学校跡地は1万3000㎡ほどのフラットな土地で、いろんな可能性を秘めている。様々な意見があると思うが、どう決定していくかというのは非常にじっくり慎重に考えながら進める必要があるかと思う。市としては部局横断的な形で決めないといけない。

市役所の中に資産活用推進会議というものがあるので、その中で市役所全体としてこの資産をどのように有効活用し、地域の方にも役立つようなものがどのような形でできていくのかということをしっかり検討して参りたい。

## 防災危機管理局長

- 跡地活用の件については教育委員会から話があったように、まだ活用としては決まっていない。確かにこの地域の避難場所はコミュニティセンターも河岸浸食エリアにあり、中学校は浸水想定地域に入っているということで、大雨が降った時の避難場所が公共施設ではない状況。小学校は浸水想定地域に入っていないが、一部土砂警戒区域に体育館が入っている。グラウンドの方は大丈夫だということで、何かあった時の避難場所に有効な活用ができるのではないかとということもあるので、今後資産活用委員会等で検討される際には我々からもそういうアドバイスはさせていただこうと思っている。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編による跡地利用と避難所の見直しについて

## 地域参加者

- 避難所について、大雨の際に小学校の入口がたびたび冠水して避難所に行けないということがある。県道なので県と話していただいて、道路の改造を検討してほしい。  
小学校の方が、敷地的に高い位置にあって逃げ場になると思うので、グラウンドは残してほしい。祭りの実行委員をしているが、祭りの駐車場としてもグラウンドを利用しているので、地域に委託してもらおうか公園化していただいて残してほしい。
- 学校再編と避難所に関しては自治協議会を交えて報連相を密にお互い話し合っ、すばらしい跡地活用を。トイレの問題や浸水の問題なども、まずは地元の話聞いていただいて動いてほしい。

## 防災危機管理局長

- 避難所になっている小学校の進入路が冠水するという件については、土木部も問題視しており、県の方にも要望させていただいていると聞いている。まずグレーチングを変えてみたりと一定の努力はしているが、抜本的な改善には至っていない。今後は土木部も含めて、我々の方からも強くお話しさせていただいて、県とも協力しながら、避難時に浸かることがないように進めていきたいと思う。ただハードは整備がすぐには進まないと思うので、まずは早めの避難を呼びかけるなどソフト的な対応をさせていただいて、将来的にはそういうことが進むように我々も努力していきたい。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編による跡地利用と避難所の見直しについて

## 市長

- 学校再編については、教育総務部長がお話したとおりに鋭意取り組みを進めているところ。私としては、教育委員会に2つの話をしている。ひとつは拙速な統廃合は行わないということ。地域の皆様方の話をよく聞いて、特にそこに通う子どもたちの目線で考えて統合を図ってくださいと申し上げている。もうひとつは、跡地利用について。地域の皆様方にとって、これまで学校はよりどころであったと思う。学校の機能がなくなっても、その場所は地域のよりどころだろうと思うので、地元の皆様方の意を汲みながら跡地利用を考えてくださいと申し上げている。
- 避難所の機能としては、地域の皆様方の安心安全を図るための重要な施設であると思うので、そうした機能も果たせるようなものを地域の皆様方と一緒に取り組ませていただきたい。

なお小学校の体育館の空調設備については、本市において県内で最も先駆けて来年度から行うことになっていて、特に避難所にあてられているところから行うことにしている。住民の皆様方、特に避難される方のことを第一に考えながら進めていきたいと思っている。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 地域参加者

- 佐世保市の人口がだんだん減少している。人口減少は出生率に起因するところもあるが、交通インフラが整備されていないと人は来ない。観光収入も少なくなる。  
東部地区でいつも話にあがるのは東彼杵道路。205号の渋滞がひどい。朝の通勤時間帯の事故は本当に悲惨なもの。国・県・市が一緒になって早期に着工できるように動いてほしい。
- 南部漁協では行政の指導に則ってなまこの放流、漁を行っている。まだ獲っていないのでわからないが、今年は期待できそうである。今後とも漁業、なまこの育成にご支援・ご協力をお願いしたい。
- 歴史的遺構である無窮洞でガイドをしている。最近の見学者の特徴としては、小学6年生の修学旅行生が多く、当時同年齢の子どもが作業に従事していたため、そういうのを見て触って先人の苦労を偲んだり、平和について考えることは非常に意義があると思う。  
見学者が今かなり減っている。県外からの見学者に比べ、市内からの見学者が非常に少ない。市内から見学者が来るように、例えば広報させばなどで市からも啓発活動をしていただきたい。できるだけ多くの人に見学してもらい、平和について考えていただけるような状態になってほしい。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 市長

- インフラ整備のお話が会長からあったが、私としても東彼杵道路を重要な基幹道路と位置づけ、国や県の方にも要望している。佐世保の中では西九州自動車道路と東彼杵自動車道路の2つが基幹道路として重要だと思っている。住民の皆様方からご理解いただき、今有料化を前提にこの事業を1日でも早く事業化すべく、国交省でお話しさせていただいたところである。

お話にあったように、この道路は渋滞が慢性化しており、特に川棚方面については病院と直結した道路で、一旦事故で渋滞が起きると、命の危険にもさらされるというような「命の道路」である。そうした意味からも、この道路が非常に重要な道路だということを国の方にも再三訴えている。

東部地区、特に宮地区における次の展開として、今度東彼杵のインターのところ新たに工業団地を県の方で造成されるという話がある。県の方で誘致について中身が進められているように聞き及んでいるが、仮に完成すればこの効果を佐世保に最大限引っ張ってこななければならない

と思う。いろいろと連携しながらこれから取り組んでいかなければならない。そのストック効果を最大限派出させるためには、東彼杵道路が非常に重要な位置づけになるかと思う。そのことを念頭に置きながらこれから事業の進捗を図っていきたい。

環境アセスメントに入っているので、この件については早晩大体終了するのではないかと考えている。そういう意味では、この事業についても着々と進んでいることは間違いないと思う。そのことを踏まえながら、1日も早くこの事業が完成するように市議会の皆様方とも一緒に要望活動を進めていきたい。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 市長

- 先立ってからなまこの被害が非常に大きかったということもあって、支部長がおっしゃったように種苗放流もしているところ。順調に育っているということであれば幸いであるし、しっかりと生育をして早く皆様方に役立つように、また食卓に届けられるようにできればと思う。水産資源が枯渇する中で、種苗放流は非常に重要な事業だと我々も認識しているので、今後ともしっかりと行っていきたい。



- 無窮洞は本市にとっても非常に重要な財産だし、これからも活かしていかなければならない。市内から訪問する人が少なくなっているということも踏まえて、市としてどう広報していくのかということも、子どもたちの平和教育も含めて考えていければと思う。  
また、平和に関していえば、外国の方も非常に関心が高いのではと思う。クルーズ船も多く寄港しているが、そうしたことをご存知じゃない事業者がほとんどだと思うので、物語も含めてちゃんと各クルーズ船の皆様方にもお話しできるように、少し担当と一緒に考えていきたいと思う。



# 令和7年度宮地区 意見交換内容(要旨)

